

# 歴史と街づくり活動の経緯

## 1. 石州街道出口地区のまちなみ形成の時期

江戸時代に石見銀山と瀬戸内海の港を結ぶ石州街道の要衝の町として形成されたのが出口地区です。その後も藍や桐、たばこなどの農林産物の集積地として商業が盛んになり、さらに集産物を加工する機能が求められるにつれ、繊維、木工、食品などの工業が栄えていきました。町並みは、江戸時代に始まり、明治、大正、昭和と府中市の商業の中心地として形成されていきました。昭和後半には商業の中心地が東に移行し、出口地区にあった商店は少しずつ閉店し、町並みを残して高齢者の町へと変わっていきました。

## 2. まちづくり活動

### 1) まちづくり活動の始まり

若者の流出、空き家の発生、町並みが失われることを危惧する住民有志らが、2001年に「まちづくりを考える会」を結成しました。役所の協力を得て、2002年に町の将来を考えるワークショップや町歩き、勉強会を行い、地区の課題や改善方法を検討しました。石州街道出口地区まちづくり協議会（以下、協議会）を立ち上げ、「生活からの視点にたった歴史を生かしたまちづくり」に取り組むことを住民らが了承しました。



石州街道出口地区まちづくり協議会では役所に任せてばかりでなく、地区の魅力向上や情報発信に関する活動を楽しんで行き、「住んでよし、訪れてよしのまち」を目指して活動を始めました。

### 2) まちづくり活動の歴史

石州街道出口地区では、景観保全や環境整備に関する活動と地区の魅力向上・情報発信に関する活動の二つをまちづくりの両輪として取り組んできました。街なみ環境整備事業で公園や道路の整備、建物の外観の修景は進められましたが、石州街道を知ってもらおう、訪れてもらおう、いろいろな地域と繋がろうと様々な取り組みを行ってきました。

#### (1) 景観保全や環境整備に関する活動

2001年	住民の有志による「まちづくりを考える会」を結成
2002年	「石州街道・出口地区まちづくり協議会」を立ち上げ
2004年	国土交通省「街なみ環境整備事業」の開始（2014年3月まで）

2005年	公園整備のための公園づくりワークショップ
2005年	「夢街道ルネサンス認定地区」認定
2006年	消火器庫の木製カバーの製作・設置
	おもてなし活動（一輪挿しと玄関前清掃）開始
	広島県景観会議「景観づくり大賞（地域活動の部）」優秀賞を受賞
2007年	夢街道フォーラムへの出展参加（国土交通省中国地方整備局主催）
2008年	第1回全住民による地区の居住環境を考えるアンケート調査実施
2011年	ちゅうごく街道交流会議（国土交通省中国地方整備局主催）にて活動発表
2013年	広島県いきいき地域づくり賞を受賞
	日本風景街道「銀山街道・陰陽結ぶ銀の道」に登録  （島根県太田市～広島県尾道市・岡山県笠岡市の一部として）
2014年	街なみ環境整備事業 修了（2014年3月）
	総会にて、修景基準の継続運用決定
	第2回全住民による地区の居住環境を考えるアンケート調査
2015年	（一社）中国建設弘済会 まちづくり支援助成活動報告会にて敢闘賞受賞



消火器庫を製作の様子

（町並み保存を行う地区の活動をまねて、まずは消火器庫の景観保全に取り組みました。）



公園づくりのワークショップの様子

(長年捨て置かれた工場などの跡地に念願の公園を計画。地元の小学生や住民が参加した公園づくりワークショップ。遊具がない、祭り用舞台がある公園に決定。)



街なみ環境整備事業による修景前後の建物外観

(修景されていく建物を見て、こんな風に我が家もと、次々に手が挙がっていきました。)



大学生による調査報告会

(大学生らが住民の話を聞き、地域の魅了や課題についての調査を行いました。)

## (2) 地区の魅力向上・情報発信に関する活動

2003年	「ひな祭り」イベントの開催(継続中)
2004年	ホタルの放流とホタル祭り(継続中)
2006年	観光案内ボランティアを養成
2007年	「夢ほたる公園」の落成式および夢街道ルネサンス認定地区記念碑除幕式 夏休みこども寺子屋事業(継続中)
2008年	おいでんせ祭りの開催(継続中) デパートで石州街道出口地区宣伝ブース出展
2009年	キャンドルナイトの開催(形を変えて、継続中)
2011年	銀の道フェスティバル・飛脚プロジェクトへの参加
2014年	石州街道出口地区まちづくり10周年記念行事「巴祭り～ふたたび」を開催



観光ボランティアの養成



ひな祭りの様子



おいでんせ祭り





「夢ほたる公園」の落成式および夢街道ルネサンス認定地区記念碑除幕式  
(祭りやイベントでの利用はもちろん、正月やお盆などの帰省時には子供連れが利用しています。普段の清掃やトイレの管理は自治会が担っています。)



府中 NEWS 速報より



石州街道出口地区まちづくり 10周年記念行事「巴祭り～ふたたび」

(石州街道出口地区まちづくりの10周年をお祝いする祭りでは、おいらん道中、街角ギャラリー等を開催しました。地区にある140年続く老舗の(株)金光味噌と協働して、味噌を使ったライスバーガーを開発し、販売しました。売上金は広島市土砂災害被害者支援へ寄付。)



夏休みこども寺子屋事業

(同じ町内にあった小学校は統合され、地区では小学生の姿はまばらです。小学生を楽しませ、宿題に追われる保護者を喜ばせ、高齢者らが活躍できる夏休み寺子屋事業を2007年から

実施しています。高齢者らが先生や引率者になって、地域の企業や団体の協力を得て、工場見学、習字教室、橋梁点検など毎年様々な活動を行っています。)

### 3) まちづくり活動の特徴

#### (1) 修景基準について

街なみ環境整備事業で、およそ40件の修景が行われました。このうち、3件は自費による修景です。おかげで、多くの観光客が訪れ、祭りも盛況です。街なみ環境整備事業終了後、住民で話し合った結果、修景基準は残し、町並み保全を継続して行っていくことになりました。

#### (2) 活動費について

協議会の活動費は空き缶の回収やイベントでの収益により捻出しています。そのため、町並み保全だけでなく、地域を盛り上げる祭りやイベントを年間10件以上、行っています。イベントは、府中市を盛り上げること、出口地区を知ってもらうこと、自らが楽しむことを目的にしています。また、10年間を通して協議会の会員は高齢化し、すでに世代交代が進んでいます。協議会だけでできないことは、諸団体と連携して、若い人の力を借りて行っています。